

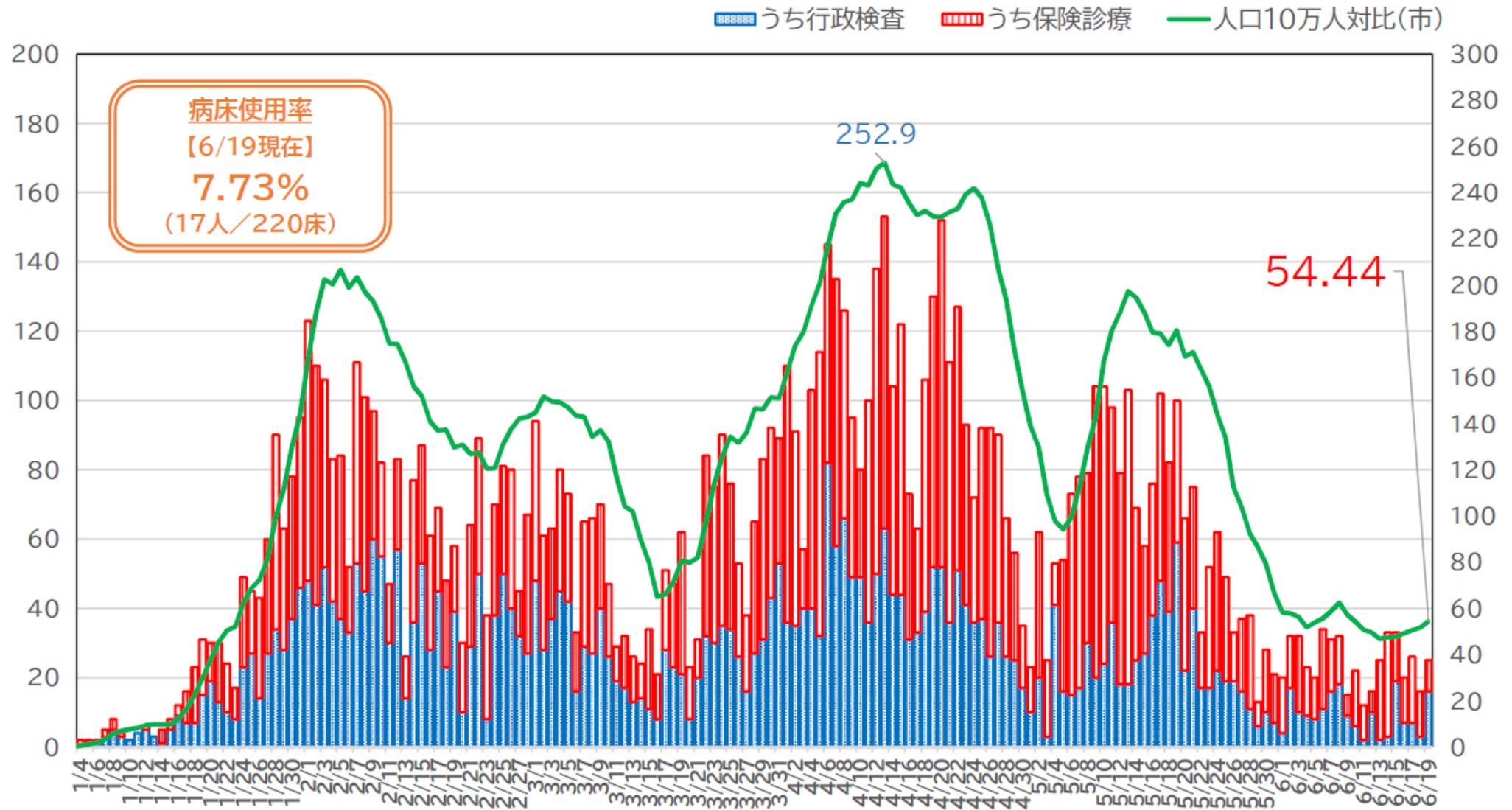


いわき市

市長記者会見

令和4年6月21日

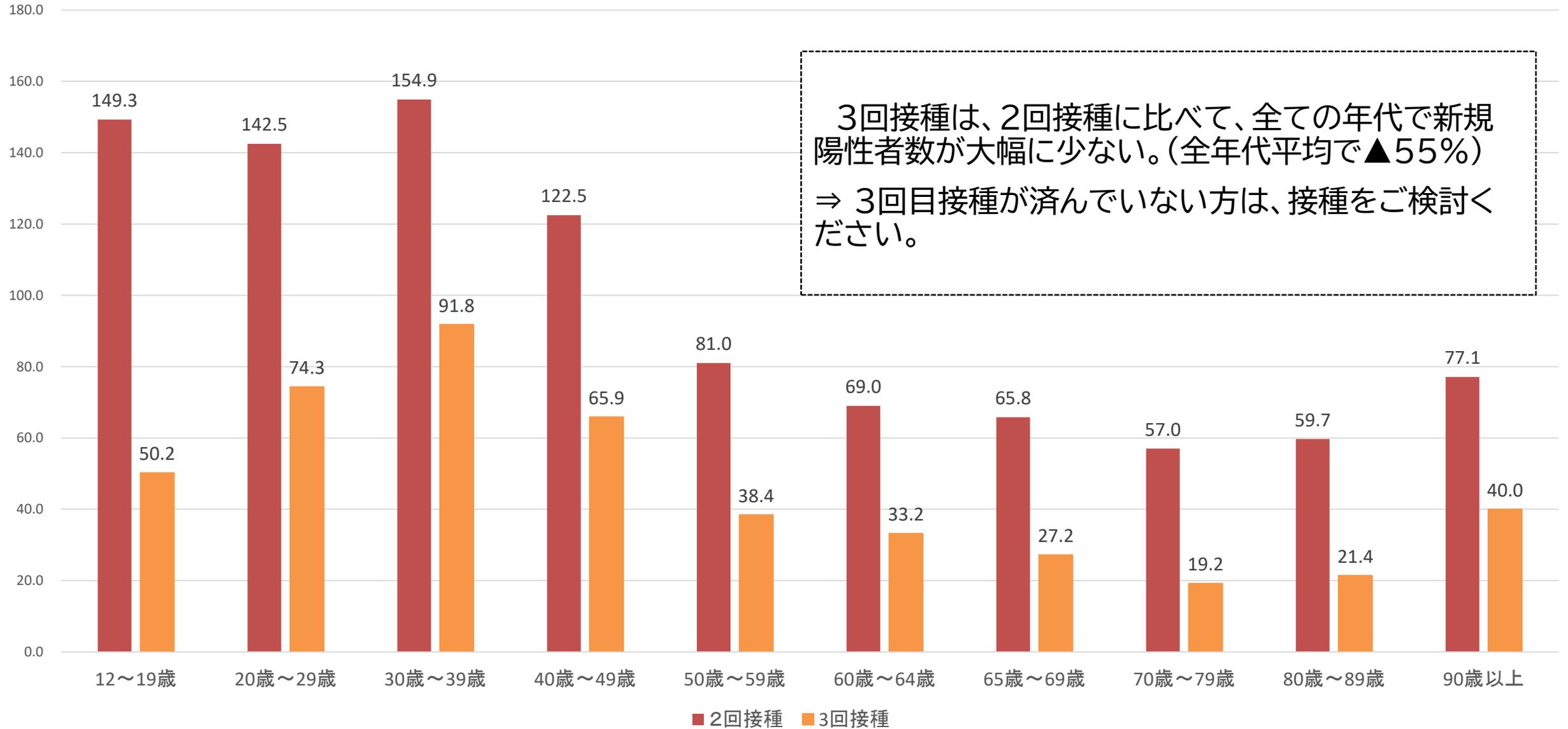
新規感染者数と人口10万人対比の推移



直近2週間の状況

陽性判明日	6/6	6/7	6/8	6/9	6/10	6/11	6/12	6/13	6/14	6/15	6/16	6/17	6/18	6/19
陽性者数	34	31	32	15	22	12	16	25	33	33	20	26	16	25
うち行政検査	11	16	18	9	6	2	10	2	3	19	7	7	3	16
うち保険診療	23	15	14	6	16	10	6	23	30	14	13	19	13	9
人口10万人対比	55.67	58.73	62.4	57.2	54.14	50.77	49.55	46.8	47.41	47.71	49.24	50.47	51.69	54.44

ワクチン接種歴別の人口10万人あたり新規陽性者数 (5/23-5/29)



年代別 3回目ワクチン接種率 (6/19)

年代が低くなるほど、接種率が低下。

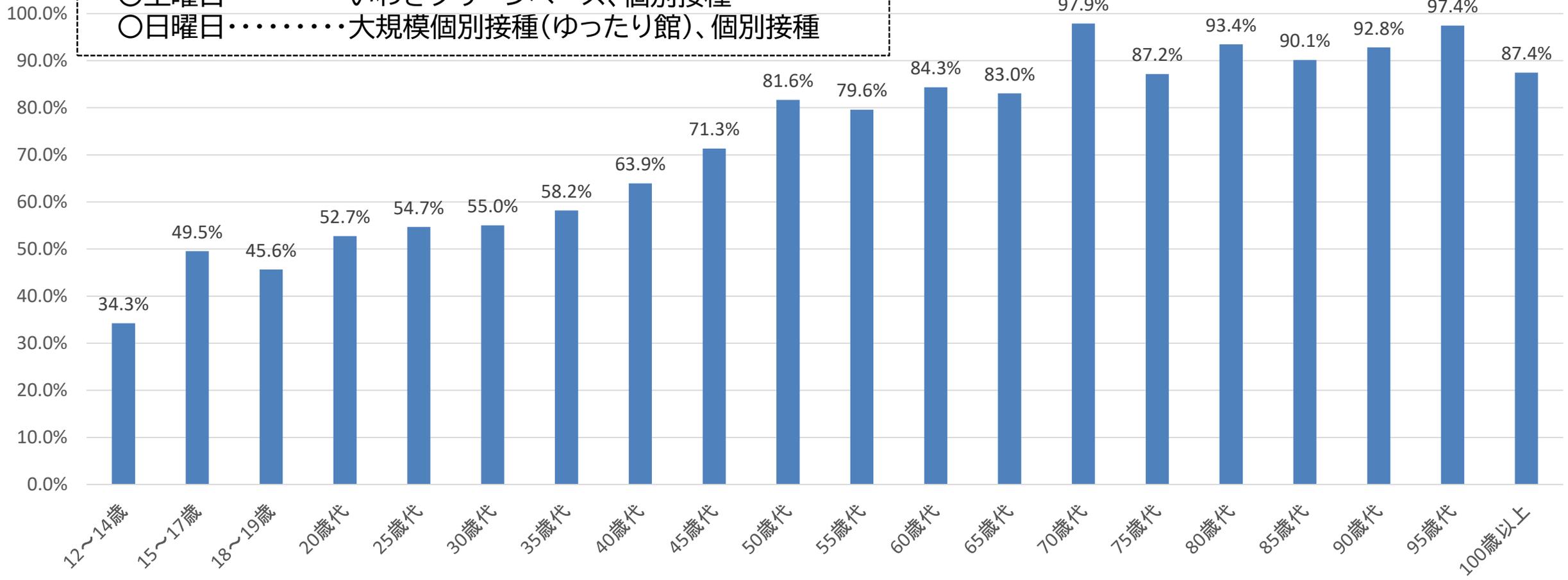
予約枠は、十分に確保。金曜日の夜間、土日も予約可能。

【夜間・週末の接種会場】

○金曜日(夜間)・・・いわきグリーンベース(18:30～19:45)

○土曜日・・・・・・・いわきグリーンベース、個別接種

○日曜日・・・・・・・大規模個別接種(ゆったり館)、個別接種





いわき市

案 件

- 1 令和4年度 第1回いわき市総合防災訓練
【大雨・洪水編】の実施について

令和4年度 市総合防災訓練テーマ



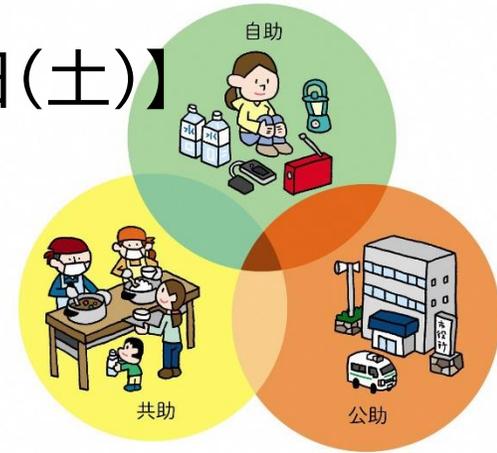
「逃げ遅れゼロ」「災害死ゼロ」を目指して

- 自主防災組織、防災士及び各関係機関とともに行う
市民参加型の訓練（共助による災害対応力の向上）
- 災害時における確実な避難行動
- 新型コロナウイルス感染症などの**感染症対策を踏まえた**
避難所開設・運営



訓練概要

- 1 日 時 令和4年7月23日(土)【予備日:7月30日(土)】
8時30分～11時30分
- 2 場 所 市役所、各支所、避難所14ヶ所ほか
- 3 災害想定 大規模(令和元年東日本台風レベルの台風)な
水害・土砂災害の発生を想定した訓練。
- 4 参加機関 陸上自衛隊、福島県海上保安部、福島県、県警本部、
東北電力ネットワーク(株)、(株)FMいわき、
災害時応援協定事業者、消防団、自主防災組織等



訓練のポイント

シナリオを開示
しない
ブラインド方式

ポイント1

災害時の
初期対応

令和元年以降、
大雨・洪水訓練へ
の市民参加は初

ポイント2

市民参加

ポイント3

協定事業者
との連携



災害時の初期対応（ポイント1）

1 災害対策本部設置訓練・初期対応訓練

台風接近による避難情報（高齢者等避難）発令から、被害発生直後までを想定し、全庁的な初期対応訓練。（シナリオを開示しないブラインド方式）

同一の災害事象のもと
連携して訓練するのは初

2 大規模災害対応訓練（消防本部・警察・海上保安部）

消防本部において、自衛隊、警察、海上保安部が参加し、災害対策本部に派遣されているリエゾン（情報連絡員）の情報を踏まえながら、人命救助に係る図上訓練。

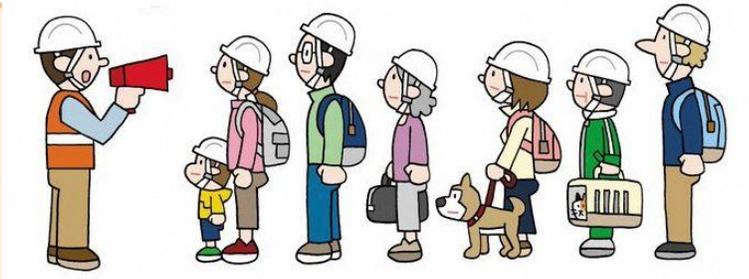
3 情報伝達訓練

避難情報の適時的確な発令と、市民に分かりやすい情報提供及び防災行政無線等のさまざまな手段を活用した情報伝達訓練（防災メール、消防サイレン）。

市民参加（ポイント2）

1 避難所開設・運営訓練

- ・ 新型コロナウイルス感染症等の対策を踏まえた避難所開設運営訓練。
- ・ 避難所における新型コロナウイルス感染症の濃厚接触者への対応訓練。
- ・ MAP型混雑検知システム「バカンマップス」を活用した避難所混雑情報の発信訓練。



訓練モデル地区を選定
して実施するのは初

2 各地区の特性等を踏まえた訓練

災対地区本部（13支所）において災害のリスクの高い地区をモデル地区として選定し、自主防災組織等の市民参加型の訓練。

（参加予定人数：約1,500人うち市民約850人）

災对各地区本部（13支所）訓練内容

地区	モデル地区	実施会場	主な訓練内容・テーマ
平	下平窪自主防災会	平四小	確実な避難行動
小名浜	上神白自主防災会	小名浜武道館	情報伝達訓練など
勿来	中田地区自治会	南部アリーナ	浸水・土砂災害を想定した訓練
常磐	下船尾町自主防災会	湯本三中	土砂災害を想定した訓練
内郷	白水6区	内郷二中	避難所運営訓練
四倉	四倉町袖玉山自主防災会	旧大野一小	土砂災害を想定した訓練
遠野	遠野町上滝地区自主防災会	上遠野小	避難所開設訓練
小川	山ノ入・淵沢区自主防災会	小川小	避難所開設訓練
好間	中好間自主防災会	好間中、いわき健診プラザ	浸水・土砂災害を想定した訓練
三和	上三坂地区自主防災会など	上三坂公民館など	水害・土砂災害を想定した訓練
田人	荷路夫地区自主防災会	荷路夫集会所	避難所開設訓練
川前	川前第7区防災会	川前活性化センター	土砂災害を想定した訓練
久之浜・大久	筒木原自主防災会	久之浜・大久支所、久之浜二小	水害・土砂災害を想定した訓練

災害時応援協定事業者との連携（ポイント3）

災害時の協定を締結した事業者との訓練

- 佐川急便との「支援物資の受入及び配送等に関する協定」に基づく、避難所への支援物資搬送に係る訓練。
- 好間工業団地事業者との「災害時緊急一時避難施設等としての使用に関する協定」に基づく、自動車避難訓練。（大雨・洪水想定では初）（会場：いわき健診プラザ）
- 日本工営(株)との「流域治水の推進に関する協定」に基づく、AIによる洪水予測技術の実証の一環として、市内河川の浸水被害予測及び情報伝達を実施。

新たな協定事業者である好間工業団地事業者や日本工営(株)が大雨・洪水訓練に参加するのは初

市民の防災意識の向上への取組み

- 市長がFMいわきでこれまでの防災への取組みや訓練概要を説明する。
番組名：市政情報番組いわきwith 6月27日、7月11日の週放送分
- 新型コロナウイルスワクチン集団接種会場(いわきグリーンベース)で、高齢者向けの防災啓発事業を実施する(防災啓発動画の放映、保存食の配付、防災ラジオの無償貸与、防災メールの登録促進等)。
【予定日：7月29日(金)～7月31日(日)】
- ラトブ屋外広告での防災啓発を実施する。





いわき市

案件

2 医師確保の取り組みについて

いわきの医師不足の現状

人口10万人あたりの医師数

R2年12月現在

本市 **172.7** 人

全国平均 **256.7** 人

全国60の中核市のなかで

55 位

本市の医師不足数

R2年3月策定「福島県医師確保計画」

本市標準化
医師数 **536** 人 ①

県目標
医師数 **631** 人 ②

本市 確保
目標数 **95** 人 ②-①

医師確保の取り組みについて

概要

本市における確保すべき医師数等について、市内病院へのアンケートやヒアリング、調査分析、市地域医療構想会議の協議等を踏まえ、診療科ごとに確保すべき医師数の目標や、医師確保の取り組みについて明確化するもの。

市内病院への アンケート調査

- 1.対象:市内の全26病院
- 2.時期:依頼日4月13日-回答期限5月13日
- 3.主な調査内容

(1) 診療科別医師数

- 現員数(常勤・非常勤)
- 増員希望者数
- 増員を希望する理由

(2) 診療科別患者数

(3) 現状での医師確保方法(選択式)

- 大学医局からの派遣
- 病院からの派遣
- 個別紹介などによる依頼 など

(4) 病院の課題

- 資金面
- 人員面
- 施設面 など

(5) 病院の課題解決に向けて 市に期待すること

SNSの開設について(5月下旬～)



各種SNSで情報発信しています



フェイスブック
@iwakinoiryo



インスタグラム
@iwaki_iryō



ツイッター
@iwakinoiryo



ユーチューブ
「いわきの地域医療」



いわき市

案件

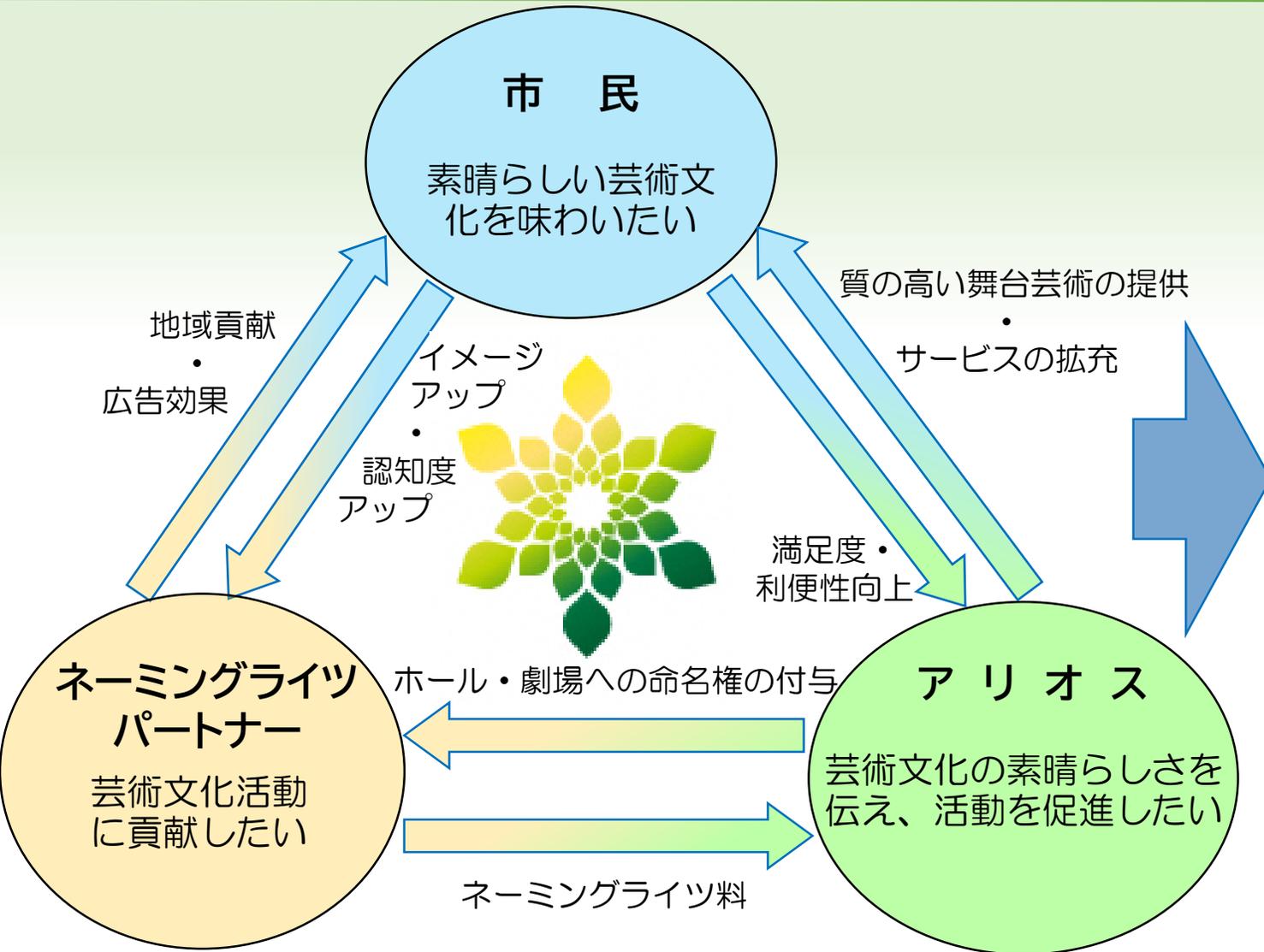
- 3 いわき芸術文化交流館(アリオス)における
ネーミングライツ・パートナー募集について

いわき市芸術文化交流館（アリオス）における ネーミングライツ・パートナーの募集について



- いわきアリオスは、令和5年4月に開館15周年を迎えます。
- これを機に、アウトリーチ活動の拡大を始め、皆様の創造活動の支援や、次代を担う子どもたち等、芸術文化に携わる人材の発掘・育成など、芸術文化の力による地域課題の解消に向けた様々な取組みを実施してまいります。
- **新たな取組みの一つとして、芸術文化を応援いただける法人の皆様を対象に、館内の4施設に愛称を付ける権利(ネーミングライツ)を取得するパートナーを公募します。**

ネーミングライツ導入後の事業等イメージ



芸術文化の力による地域課題の解消

- 企業等と連携のもと多彩な芸術文化を鑑賞できる機会を創出するアウトリーチ活動の拡大
- 市民の創作活動の支援や、次代を担う子供たち等、芸術文化に携わる人材の発掘・育成
- 芸術文化活動を活かした交流人口・関係人口の拡大
- 多くの人々が集い・交流する空間づくり 等

市民・企業とアリオスが連携した『**芸術文化のまちいわき**』を目指す。

募集施設の概要

対象施設	概要	最低価格(年額)
大ホール 	席 数 : 1705席(通常) 観 客 数 : 約 14.4万人/年 年間稼働率 : 約 82.0%	300万円
中 劇 場 	席 数 : 500~687席 観 客 数 : 約3.3万人/年 年間稼働率 : 約 63.6%	200万円
小 劇 場 	席 数 : 233席 観 客 数 : 約1.1万人/年 年間稼働率 : 約59.7%	100万円
音楽小ホール 	席 数 : 200席 観 客 数 : 約1.4万人/年 年間稼働率 : 約57.5%	100万円

※ 観客数及び稼働率については、コロナ禍の影響を受けなかったH27~R1年度(5年間)の実績の平均値
※ 消費税及び地方消費税は、別途御負担いただきます。

ネーミングライツ・パートナーへの特典

◇ ネーミングライツ・パートナーとなった方には次の特典が付与されます。

特 典	内 容
各広報媒体への掲載など、愛称について広く周知広報	愛称について、当館が作成する各種パンフレットやHP等へ積極的に掲載しながら、芸術文化の振興に対する協力企業の思い等をPRする。
対象施設の無償使用 (年1回)	協力企業が行う職員の福利厚生やコンベンション等、商業活動とはならないイベント等について、対象のホールや劇場等の利用に伴う、施設使用料等の免除を行う。(設備使用料等、一部費用を除く)。
館内外(敷地内)におけるPRの機会提供	<p>ネーミングライツ・パートナーにおける事業理念や事業活動、社会貢献活動等についてPRできる機会を提供する。</p> <p>例：企業等の事業、社会貢献活動の紹介パネルの設置 イベントに合わせ企業が行うPR活動の支援 など</p>
協力企業等が行う芸術文化振興の取組みに対する支援	ネーミングライツ・パートナーによる芸術文化振興を目的とする取組み(質の高い音楽や舞台芸術を市民が鑑賞できる場の提供や、アーティスト等の芸術文化に携わる人材の育成など)に対し、プランニングや出演者の派遣等の支援を行う。

※ この他、契約期間満了後の令和10年度以降のネーミングライツ・パートナー公募の際に、更新を希望される場合は、優先交渉権を付与します。

応募条件

1 公募期間：令和4年6月22日～令和4年8月31日まで

2 応募資格：法人（除外要件あり）

3 愛称：「〇〇〇大ホール」、「〇〇〇中劇場」等

※ 施設の利用上、市民が認識できるように、「大ホール」、「中劇場」等の従来の名称を残す。

※ 公共の施設にふさわしく、利用者が親しみやすい愛称とする。

4 契約期間：令和5年4月1日～令和10年3月31日（5年間）

※ 詳細については本市及び当館ホームページにてご確認ください。

指定様式「いわき芸術文化交流館ネーミングライツ取得申込書」に、次の書類を添付の上、公募期間内に郵送または窓口まで持参

- ① 愛称表示に関する提案及び希望（任意様式）
- ② 法人の概要（任意様式、事業内容のわかるパンフレット等）
- ③ 直近3力年の決算報告書
（貸借対照表、損益計算書、利益処分計算書等の財務諸表）
- ④ 登記事項証明書（商業登記簿謄本）
- ⑤ 印鑑証明証
- ⑥ 当各種納税証明書（直近1年分）
- ⑦ 地域貢献や芸術文化の振興等に係る実績及び今後の計画に関する資料（任意様式）

今後のスケジュール

実施項目	年・月	R4						R5					
		6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	
募集・公募			募集期間6/22~8/31										愛 称 使 用 開 始
			現場見学会 7月中										
選定委員会開催													
優先交渉権者選定/交渉													
スポンサー決定・契約締結													
愛称等の公表・周知													
表示変更等の準備													

※ 応募状況等により、スケジュールは変動する可能性があります。